

祝・勤続25年表彰

何も分らず飛び込んだ老人介護の世界。それが過ぎてしまえば激動の25年。今や、男女参画社会での株式会社参入という競争社会。ここまで来れたことに感謝致します。
福田 芳郎

初めてご利用者をお迎えしたときの感動は、私の心の財産です。これからも初心忘れず、社会に貢献できるよう努めて参ります。
尾西 幸子

社会人になり、まもなく白学園に勤務した私は、何もわからず先輩方と仕事をさせていただきました。25年間という歳月は、子育てと仕事を両立させて行くのが精一杯の日々でした。自分にとっても長く感じられます。
布川美栄子

私の25年、今思うとあっという間でした。20年目で陽光学園に異動し、3年後にははッピーデイサービスセンターへ。この5年間は特に、いろんな面で得るものが多かったと思います。
高橋 美喜



白鷹福祉会のあゆみ

昭和 54年 6月	社会福祉法人白鷹福祉会設立
昭和 55年 4月	特別養護老人ホーム白学園 長期入所50床にて開園
昭和 58年 4月	長期入所30床増床、ショートステイ4床開始
昭和 63年 7月	ショートステイ 4床増床
平成 4年 12月	ショートステイ 12床増床
平成 5年 3月	白学園デイサービスセンター開所 (定員25名)
平成 7年 10月	知的障害者更生施設白鷹陽光学園開園 (定員80名、ショートステイ4名)
平成 11年 10月	特別養護老人ホーム白学園 長期入所30床、ショートステイ10床増床 (現定員長期入所110床、ショートステイ30床)
平成 12年 4月	白学園居宅介護支援事業所開所
平成 14年 3月	はッピーデイサービスセンター開所 (定員28名)
	はッピー在宅介護支援センター開所
平成 15年 1月	はッピーデイサービスセンター定員変更 (定員32名)

100歳おめでとございます



今回めでたく100歳を迎えられた小川作右衛門さん。1月4日、橋本町長が来園され、白鷹町よりお祝いを頂きました。お孫さんもかけつけて下さり、笑顔いっぱいの作右衛門さんでした。何でもよく召し上がることが長寿の秘訣でしょうか。これからも元気で長寿を重ねていただきたいと思います。



法人創設25周年に寄せて

白鷹福祉会理事長 **新野 晃敏**

昨年10月吉日、町内外から大勢の方々にご臨席を戴き、法人創設25周年記念式典並びに祝賀会が盛大に行われました。当法人が発足した昭和53年当時、白鷹町の高齢化率は既に15%に達し、介護の必要な高齢者が多数おられたことから、町の発展に情熱的に取り組んでおられた故菊地町長が早速設立準備委員会を発足させ、設立代表者に新野新一氏を選出、昭和54年6月には白鷹福祉会を設立し、昭和55年4月1日に社会福祉法人白鷹福祉会特別養護老人ホーム「白学園」が開設されたのであります。

その後、町の「健康と福祉の里構想」により、デイサービスセンターの開所、知的障害者更生施設白鷹陽光学園の設置運営など、「二法人四施設」を経営するに至りました。この25年間、「明るく生きがいのある豊かな老後」と「利用者の人権尊重」をモットーに関係者一同、日夜努力を傾注して参りましたが、白鷹福祉会の成長と発展は、偏に関係行政機関、関係諸団体、そして何より地域や町民の皆様方の深いご理解と厚いご支援の賜物であり、この紙面をお借りして改めて感謝と御礼を申し上げます。

いま国が平成17年度内に進めようとしている介護保険制度改革の全貌はまだ明らかではありませんが、色々な情報によると、在宅と施設間の利用者負担の不均衡を是正するために、利用者の居住費用と食費を自己負担にするとか、年々高騰する介護給付を抑制するために、介護予防サービスを導入し要介護状態の高齢者を減らす努力をする、また地域に密着した小規模多機能拠点をつくり痴呆性高齢者に対応すること等が計画されているようですが、恐らく国は介護保険制度を維持するために、介護給付の効率化と重点化を思い切った打ち出して来るでしょう。従って我々も国の方針をしっかりと見極め、社会福祉法人としての自覚と誇りを持ちながら、これからの法人経営にあたらなければ



ならないと思っておりますので、関係各位におかれましては今後とも倍旧のご指導とご協力を賜われますようお願い申し上げます。年頭に当たってのご挨拶と致します。